



たぬしまる 久留米市立田主丸中学校通信

【教育目標】ともに未来を切り拓く「人間力」を身につけた生徒の育成
令和5年9月19日(火) No. 10 文責: 校長 立山雅夫

☆ 全校生体験学習9月5日(火)～6日(水)について

○「3年生 赤ちゃんふれあい体験学習」について

3年生では、「子どもの成長を見守る親の喜びや責任、子育ての大変さ等を実感し、将来の自分の姿をイメージすることにより、夢や希望を持てるようにする。」「赤ちゃんふれあい体験や出前授業を通して、幼少期を想起したり、実体験したりすることにより、命の大切さについてあらためて考える。」をねらいに、赤ちゃんふれあい体験学習を実施しました。

赤ちゃんふれあい体験では、すすく子育て委員会、民生児童員協議会、久留米大学病院助産師、久留米市家庭子ども相談課、こども子育てサポートセンターの皆さんの協力を得て、助産師さんの講話を聞き「命の大切さ」について考えたり、実際に、赤ちゃんとふれあう体験を行ったり、妊婦体験を行い妊婦さんの気持ちを考えたりする活動を行いました。

出前授業の高校(保育科)の先生の講義では、新聞紙シアターや簡単な運動遊びを体験しながら、子どもの「楽しい!」を引き出せる活動や赤ちゃんの人形を使いおむつ交換の体験をしました。また、折り紙や粘土、クレヨンを使い、幼児の工作を体験しました。

親の喜びや責任、子育ての大変さ、将来の自分の姿の夢や希望を持つこと、命の大切さについてしっかり考えるよい機会になったと感じます。



○「2年生 職場体験学習」について

2年生では、「体験場所で出会った方々の人生観に触れ、働くという直接体験を通して、働くことの意義や職業における適正について学ぶことで、自己の生き方について考えるとともに、進路選択・進路獲得に向けての基礎づくりをする。」をねらいに、この2日間学校を離れ、自分の関心がある事業所(計50職場)へ出向き、職場体験活動を行いました。地域の方、各事業所の方々には、大変お世話になりました。子どもも、よき体験ができ働くことの大変さや楽しさ、職場での仕事内容等の理解など意義深い学習になったのではないかと感じます。今後は、職場体験のまとめを行い、学年でそのことの交流を行う予定になっています。子どもたちが、働く意義を理解し、またいろいろな職業を知ってほしいと思います。その中から自分の

納得いく職業に就くために、今からどんな力を自分自身がつけなければならないか理解し、その目標に向けて取り組んでいってほしいと強く願います。



○「1年生 ふれあい学級」について

1年生では、スローガン「一致団結 ～笑顔181(いっぱい)～」に掲げ、「集団行動を共にし、互いの友情を深め、学年や学級のまとまりを深める。」「集団行動を通して、集団の一員としての自覚を持ち、行動できるようになる。」「自然に親しむことによって、自然を愛する心を養う。」をねらいに、1泊2日のふれあい学級を実施しました。鯛生スポーツセンターに宿泊し、ドッチボールのクラスマッチ、野外調理、合唱練習、キャンプファイヤー、ウォークラリー、鯛生金山見学・砂金取りの活動を行いました。「一致団結 ～笑顔181(いっぱい)～」という素晴らしいスローガンが達成できたか、ふれあい学級での課題を振り返り、今後の学校生活に生かしてほしいと思います。



☆中体連新人大会が始まりました。

8月に中体連体育大会が終わり、体育部の部活動では3年生が引退しました。2年生を最上級生として、1・2年生の活動が始まりましたが、水泳、陸上といち早く、新人大会が行われました。結果は以下の通りです。大会が終わった部活動は、大会の反省を行い、その反省したことを、具体的に今からの活動につなげてほしいと思います。

○福岡県中学校新人水泳大会(9月2日開催)

・200M 背泳ぎ 13位 中野太嘉矢(1年) ・100M 背泳ぎ 17位 中野太嘉矢(1年)

○久留米市中学校新人陸上競技大会(9月13日開催 地区新人大会決定者)

・1年 100m 2位 二又健翔(1年) ・100mH 1位 田中倫(2年)

・砲丸投 3位 安陪満知(2年)

【敬称略】